

調剤薬局と地域をつなぐ

～調剤薬局の栄養士が目指すところ～

栄養士チーム

現状 2009年の薬事法改正により、OTC医薬品の販売方法は大きく変わり、調剤薬局も「セルフメディケーション」を積極的に支援しなければなりません。しかしながら、調剤薬局が「セルフメディケーションの場」であることは、まだまだ認知されていないのが現状です。

そして「セルフメディケーション」とは、単にOTC医薬品を販売することにとどまらず、食事や運動、喫煙などの生活習慣の改善も促していかなければならないことを、私たち職員の中でも理解が不十分かもしれません。

活動内容 調剤薬局は「処方されたお薬をもらうところ」だけではなく、「セルフメディケーションの場」として認知されるよう、薬局内外問わずアピールしていく必要があります。

栄養士は現在、埼玉行田、千葉一宮、尾久店にて、来店される方への健康栄養相談を行っています。ミキ調剤では1名の栄養士が常駐し、患者様や近隣にお勤めの方のお話をうかがっています。また地域へのアピールとして、ミキ調剤薬局では近隣ビルにお勤めの方を主な対象として、イベントを定期的に行っています。また、森の里店では、地域の長寿会の方を対象に「食事のバランスについて」の講演をさせていただきました。

展望 調剤薬局は、「調剤を行う場」の域を超え、「地域に根ざしたセルフメディケーションの場」にならなければいけない時代となりました。その中で、調剤薬局における栄養士の役割も大きくなるものと確信しています。

「お薬だけでなく、健康であるために役立つ調剤薬局を目指して」今後も、薬局内にとどまらず、活動を広げていきたいと思っています。